特集

ようこそ！

ウエストコースト

半島の西海岸へ

輪島市門前町七浦地区～志賀町富来地区

海岸エリアに宿泊施設が続々オープン！

今年新たに8施設（準備中を含む）、既存合わせて計14施設が点在

輪島市門前町から志賀町富来地区にかけての能登半島の西海岸で、今年に入り、宿泊施設の開業又は開業準備が相次いでいる。

能登半島地震で最大5・5mが隆起した門前町の海岸エリア・七浦地区では、今年5月オープン予定の民宿や民泊が2軒、海からほど近い山手の「まんだら村」や中心部で計3軒の民泊や宿泊施設付きの飲食店が開業準備を進めるほか、海沿いの集落・鹿磯でも古民家を利用した和食オーベルジュの改装準備が始まっている。

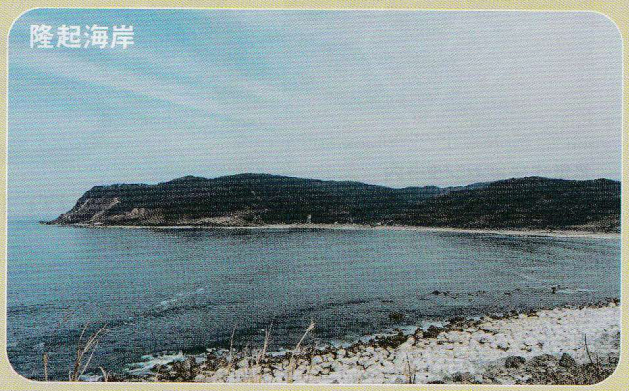
門前町の南隣りに位置する富来・西浦地区では能登半島地震の前に赤崎で民宿・民泊が3軒開業していたが、今年1月に鹿頭で新たに1軒の民泊がオープンしたほか、富来地区の中心部・増穂浦近くでも、地震で被災し、場所を移した老舗旅館「湖月館」が新築オープンする。

門前町の海沿いの集落、黒島町には既に2軒の貸別荘（2022年開業）と1軒のゲストハウス（2024年開業）があり、これらを合わせると門前町から富来地区にかけて、計14の宿泊施設が点在することになる。

門前町の海岸では、2024年の能登半島地震で3～5mも隆起した「震災遺構」を見ることができる一方、比較的、地震被害が小さかった富来地区の海岸は、「能登金剛」として知られる断崖絶壁や奇岩が連続する景勝地で、両地区とも夕陽の鑑賞スポットとしても人気がある。

この特集では、魅力的な海岸線が続く能登半島の西海岸のうち、国道249号から外れた2つのエリア（門前町七浦地区と志賀町西浦地区）にスポットを当てる。


日本海に沈む夕陽


隆起海岸